



B

H

T

V

H



T

R

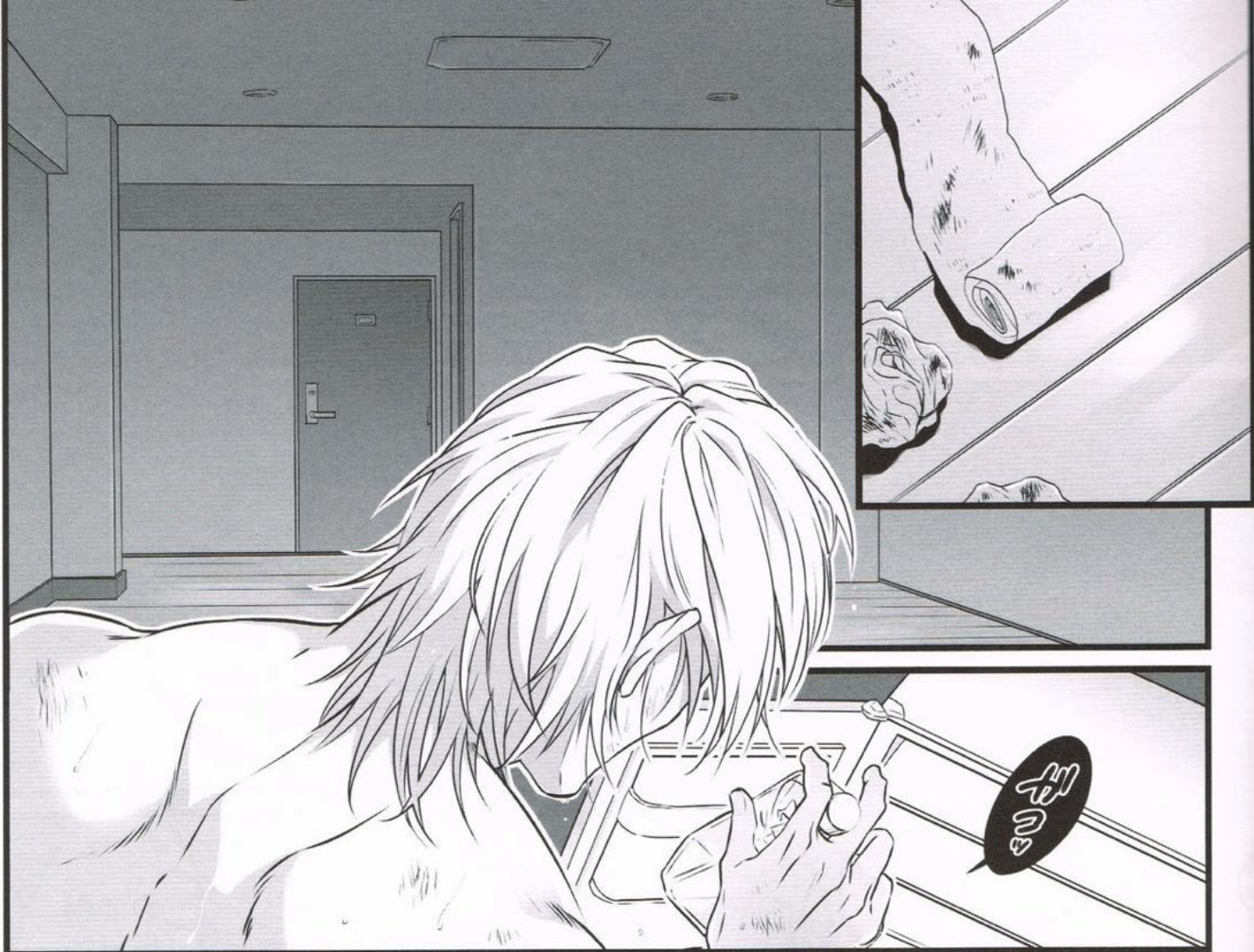
R18



[oblivious]

音節 ob · liv · i · ous 発音記号 /əblɪviəs

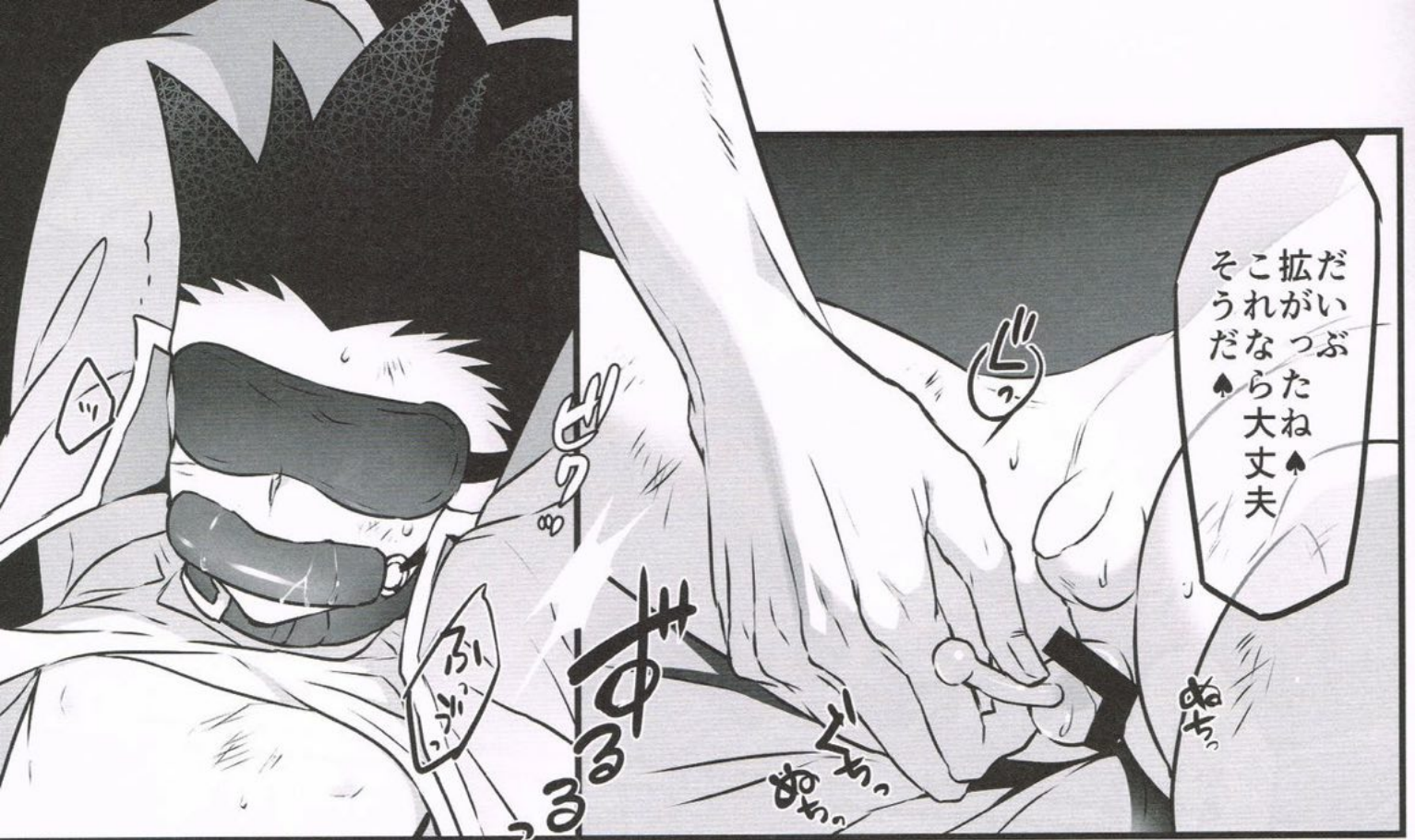
(…を)忘れて
(何かに没頭して)(…に)気づかないで





起きたかい◆

それじゃ……
はじめようか♠



だ
い
づ
ぶ
た
ね
大
丈
夫
そ
こ
れ
が
い
だ
な
ら
大
丈
夫



今
日
は
君
に
プ
レ
ゼ
ン
ト
を
持
っ
て
き
た
ん
だ

魔
女
の
媚
薬
ま
る
で
魔
女
の
呪
い
の
如
く
ど
ん
な
狂
女
で
も
た
ち
ま
ち
乱
れ
狂
う
っ
て
薬
さ



所
持
禁
止
の
苦
手
に
入
れ
る
の
に
苦
勞
し
た
よ



初めてでも
気持ちよく
なれるよう
ちよっとし
た
心遣いって
やっだ ♠

ボクって
優しいだ
ろ？

くくっ
わかる
かい ♣



今から
お尻の
コレが
キミに
入るの
中 ♠



沢山沢山
出し入れ
して
ココが
形を覚
えるま
で
突いて
あげる ♡



おっと♠

キミってば
本当に学習
しないね♥



念能力の使えないキミが
ゼロに勝てる確率は

言葉で
言い聞かせても
ダメ♠

自由を
奪っても
ダメ♠

おふん

なら……♥

痛みでも
効果なし♠

キミの大切な
お友達にも同じ目
あってもらおうか

くくっ
男のコだろ ♣
泣くなよ ♠

ますます興奮
しちゃうぜや
ないか♡

指一本で痛がって
暴れてたのにねえ♡

ぬるる

困っちゃう
なあ

ど

もっ

もつと
手酷く

ぬるるるる♡

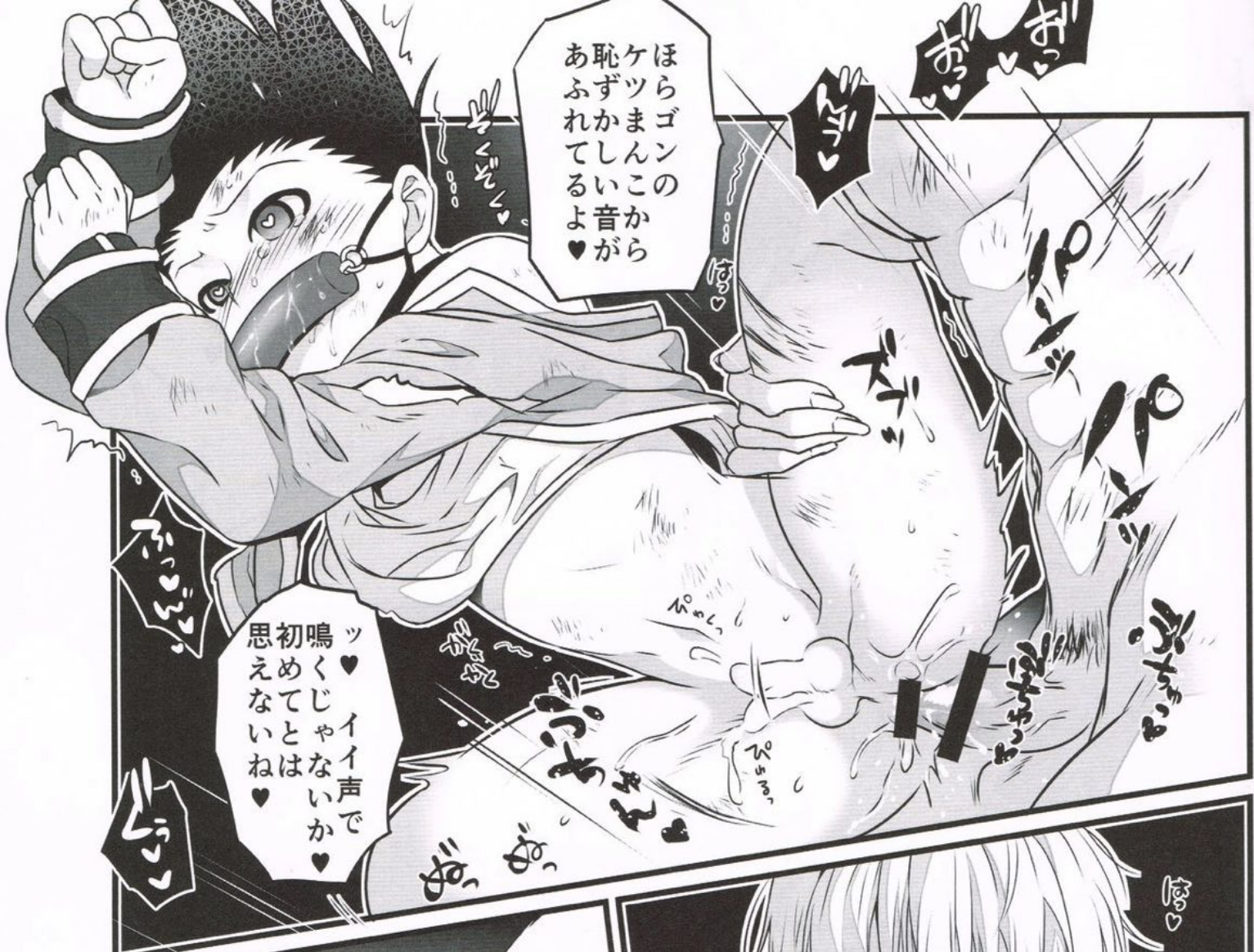
泣か
せ
た
く
♡
♡
♡

チカ

チカ

チカ

おん



ほらゴンの
ケツまんこの
ツまんこの
から音が
あふれてるよ♥

ツ♥イイ声で
鳴くじゃないか
初めじゃないか
思えないね♥

あゝ

あゝ



ボク達コッチの
相性も最高に
イイみたい♥

ちんぽで突く
たびに射精して
るのがわかる
か♥

もうおちんちんがた
バカになっちゃった
のかな?



ほらの出した汁で
ベちよべちよだ♥

ちんぽをケツに
ハメたら淫乱の
才能があるね♣

あゝしまる♥
キミ最高だよ♥

一週間前



だめだー!!
みつんかんぜー!!
みづかー!!
みづかー!!

どえ〜っ

見つかからないって
この瓶の事かい？

そー
全然情報
なくっ

んえー



やあイルミ
ソツチは
どうだい

うん ◆
子犬の躡け中 ♥
キミのこの
子猫ちゃんはまだまだ
反抗的みたいだね ♠

うん、おれさ
俺さ、さ

くくつ ♠
酷いなあ ♥
こんなに友達思いな
ボクに向かっ

おれさ



……
オーケイ ♠
もう
いいんだね ◆

こっちも
頃合いたし
思ってたかな

それじゃいつもの
口座に♣



電話中なんだから
静かにしてないと
ダメだろ？

ゴンはいつから
こんなに耐えたの
かな◆



ごおん

だってひそかが
入れたままあッ

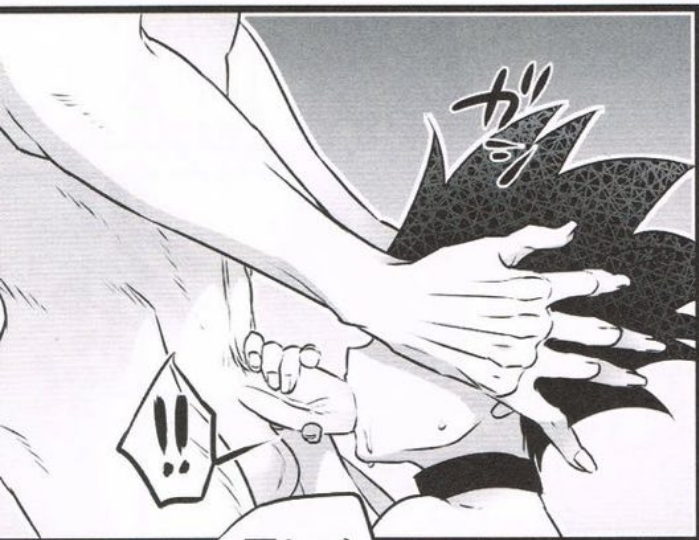
キミは耳が
弱いねえ♥

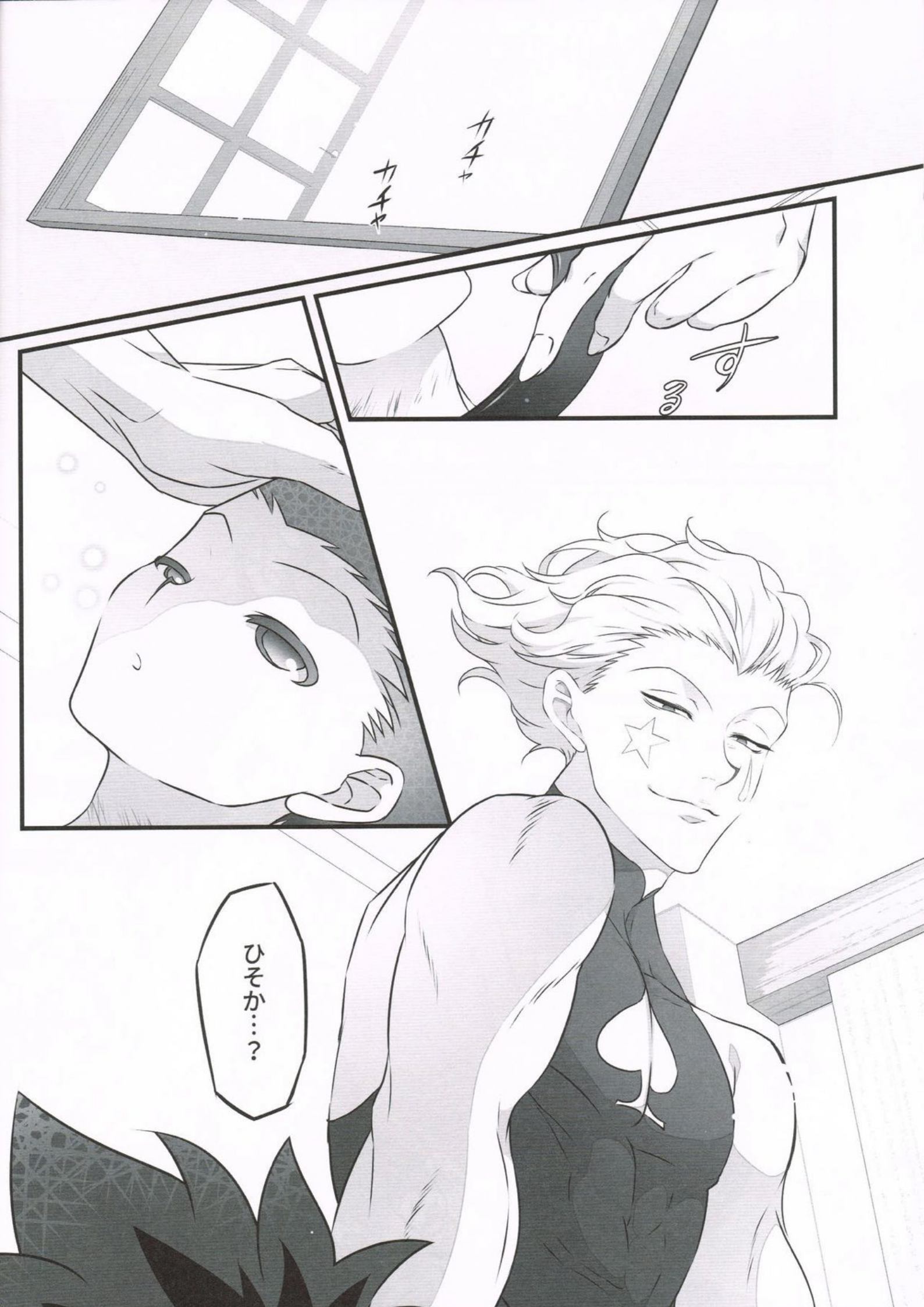
ちんちんっ
ちんちんとって！

まだだあめ♣



ひっ

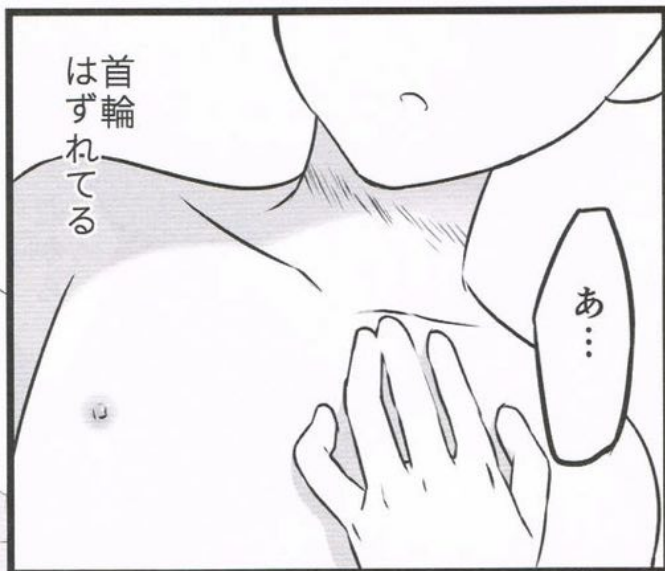




カキヤ
カキヤ

す
3

ひそか...?



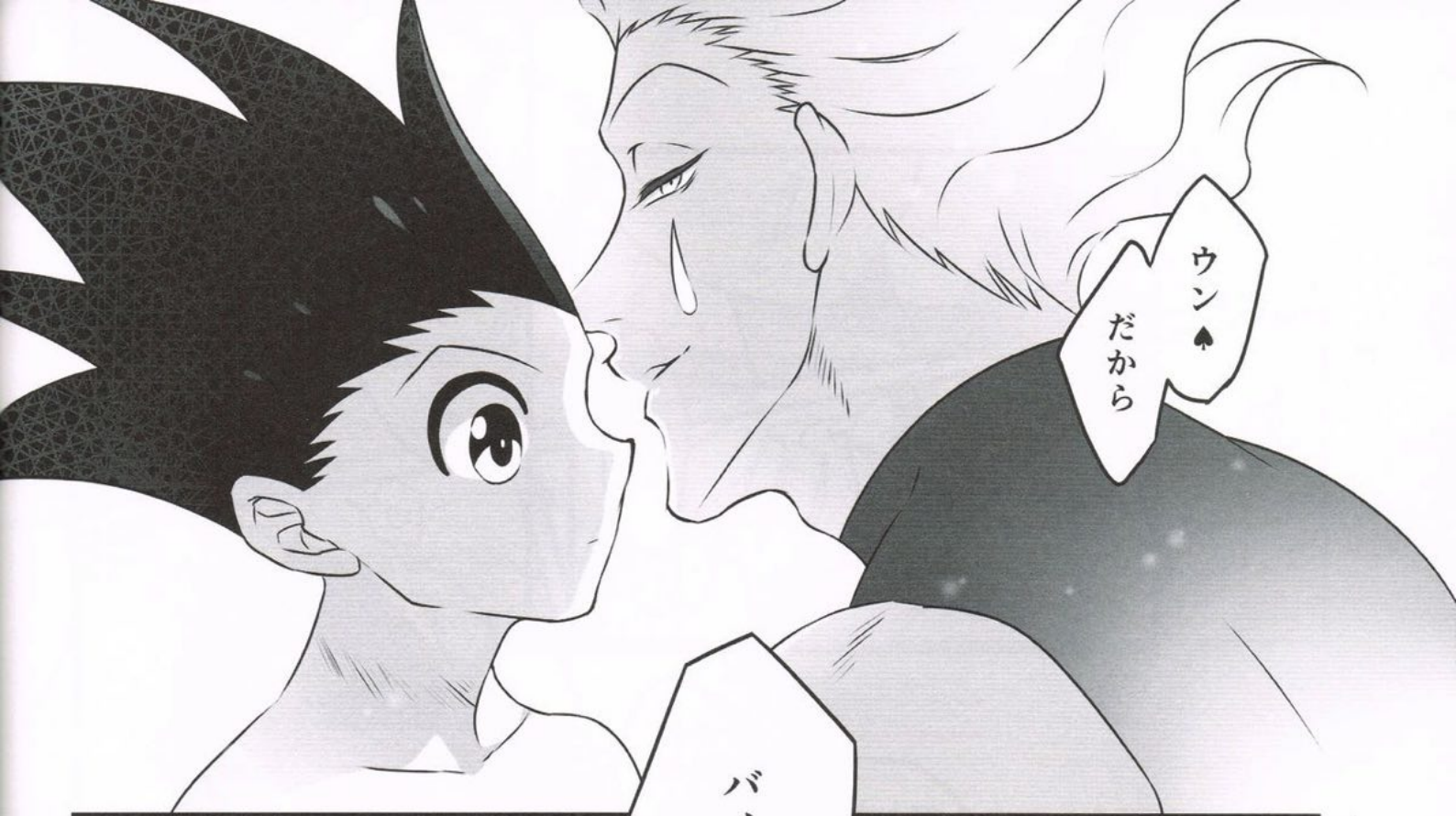
首元赤く
なっちゃったね ♠



今日から
キミは自由だ ♠

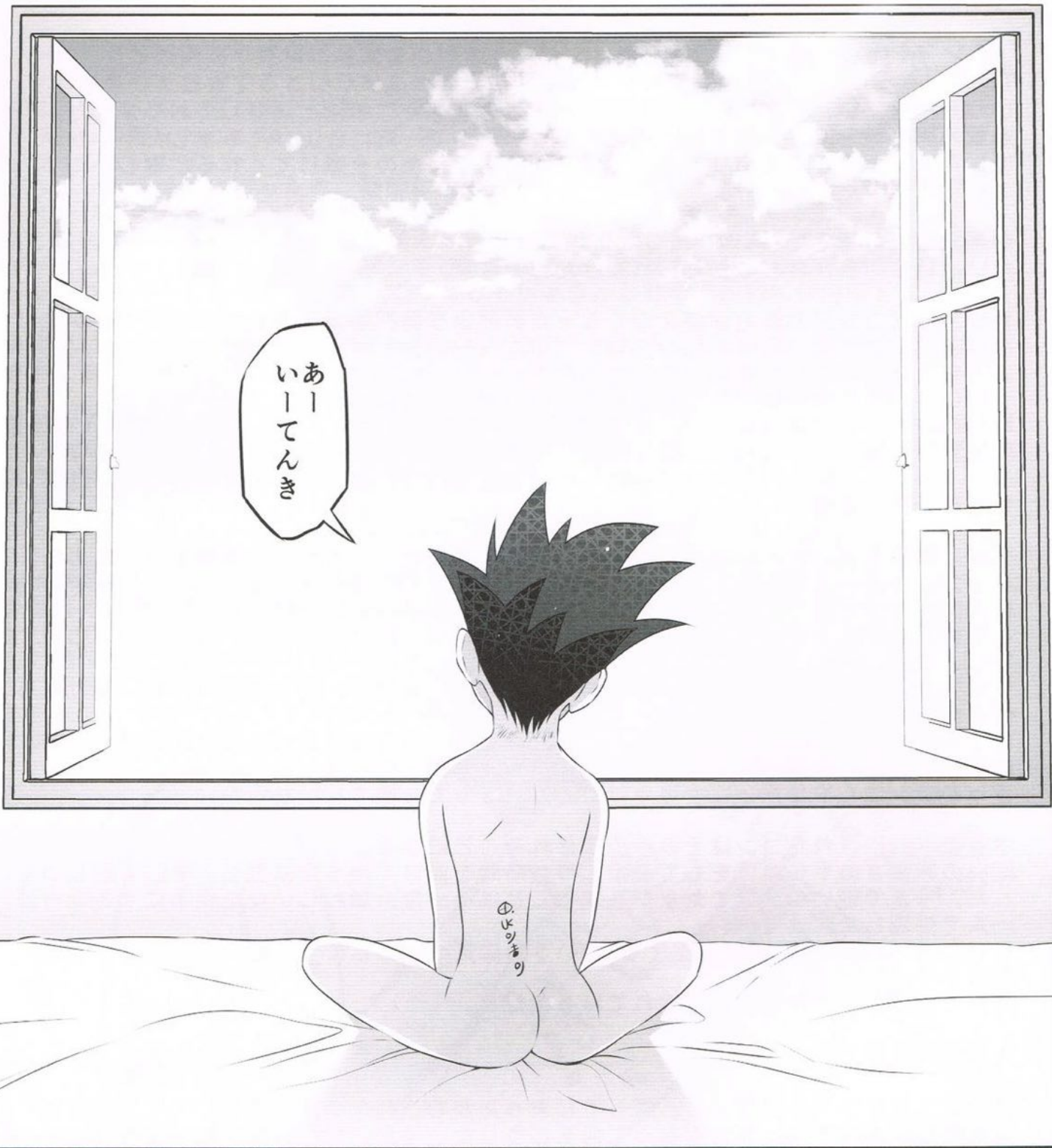
ボクはもう
行くけど
この部屋は
あっと一週
とあって
好きにして
いいよ ♡





バイバイだ♡





またねゴン



あとがきと補足

いつか描きたい、と思いつつこの話はネームの状態で二年ほど放置しておりました。連載再開の報を聞き、やる気と尻に火がついたので一気に仕上げてみましたがいかがでしたでしょうか。私のリビドーや愛を詰めまくったのを感じてくれると嬉しいです。

◆今回の話の背景について
だいたひ話の印象が変わるかもしれませんので注意。

ヒソカが【ゴンが念能力が使えなくなった】という情報を手に入れてからスタートになります。まだ青い果実とはいえ将来有望な自分のおもちゃが壊れてしまった。おそらく自分に架した誓約での能力の制限。クロコのように解決策が見つかるならばいいが、治せないのならば……？壊れたおもちゃに興味はない、はずだった。何を勝手に壊れているんだ。ゴンは自分の物である。ゴンなら治るんじゃないかな？ゴン（予想外）だし。消えぬ執着と不可解な感情にどこか苛立ちを覚えたヒソカはゴンをおびき寄せる事にした。

ゴンに依頼を出したのも目当ての物がこの町にあるかもしれないと情報を流したのもヒソカ。今は一人で行動しているとはいえ邪魔をされてはたまらないとキルアやその他の人間がゴンに近づかないよう拘束、妨害するようイルミに依頼した。この世界のキルアとアルカは早々にお兄様に捕まって躰け（意味深）をされているのでしょうね。そしてノコノコと現れたゴンに対してゲームを持ち掛ける。勝ったらあげる、負けたら付き合う。ここまでおそらく想定内。念が使えないだけでゴン自身は見違えるほどに素晴らしく成長していた。念なしの手加減での戦いでも十分楽しめるほどに。きっとゴンはくやしかったと思うけど。どうあっても勝てないからね。

ボッコボコにされたゴンはその後監禁されることになる。戦いの興奮さめやらぬ体をもてあまして時間をかけて後ろを拡張し、そして犯しつくした。今まで戦いの余韻でセックスすることはあった。煩わしい女を相手にするならば一人で処理した。ヒソカは「ゴンに性的欲求を覚える」という事に気づいてしまう。戦いをぬきにしても、興奮する。ゴンという少年の在り方に惹かれているのだと。

人はそれを愛と呼ぶ。

ボクが？まさか。と愕然とし、笑ってしまったかもしれない。一回りしてソレを受け入れたヒソカはきっと面白くなって何をどうしたいのか。自己分析を始めるのかもしれない。すべてを奪い尽くして征服したいいろんな顔を見たい。興味を引きたいと思う一方で自分は束縛されたくないし、相手もそれを望まないだろう。何よりゴンは駆け回って空の下にいるほうが魅力的だ。籠の鳥の人形に興味はない。今はこの関係でいい。名前のつかない、時折熱を共有するような曖昧な関係で。そんな感じで「戦いにばかり夢中で自分の気持ちに気づかなかった」的な意味を込めてobliviousとつけてみました。

セックスの相性もいいし、頑丈で壊れなさそうだし、見ていてなんか面白いし。そんな事を認識しつつ最後は解放してあげる…けど一つお土産を残してますね。誓約の文字。あれは所有印です。自分の物には名前を書いてくさないようにしましょう。ってやつです。きっと他の人間とセックスできないような念能力が秘められてるはずwある意味貞操帯かも。

ヒソカとゴンの関係や感情に名前をつけたくない、と思っていたのですがヒソカが恋心を自覚するというなんともミスマッチなモノが描きたくてやっちゃいました。確認の仕方、やり方や考えは激しく迷惑極まりない上に自分勝手なのでゴンからしたら全くもって意味わかんない！！ってなりますがね。ヒソカの気持ちなんて一ミリも伝わってないです。

でもゴンは一時的に怒ったり、疑問に思ったりしても恨んだりしてないと思います。リベンジに燃えるゴン。次は勝つ。みたいな。

あと開発されちゃって体の快感を覚えてしまったので少し後ろめたさや背徳感を感じながらも自分に素直なゴンはガマンできずに自分からヒソカを襲いにいくはず。

好奇心の塊だからえっちも上達してくれるでしょう。これを一般的にはセフレと呼ぶ。バトフレ？（戦い+セックス込の体だけの関係）

余談ですがオナニーする前にアナルセックスを覚えてしまったのできつとオナニーは下手くそでイキ辛い体になってると思います（涎

当初の予定では念の使えなくなる首輪かイルミの針で一時的に念能力が使えなくなるという設定だったのですが、原作でも念が使えなくなる（見えなくなる）になったので話の結末の整合性をどうとろうか迷って「かてえこたあいいんだよ！」と全部放り投げることにしました。

レイプ縛り、ちんこピアス（発信機）

尿道攻めは描きたいシチュだったのですがヒソカではなく私の趣味だなと真顔になったのでここで描いて終わりにしておきます。それでは長々とお突き愛ありがとうございました。



oblivious

2016年05月03日 初版発行

発行者： ホリマコト

発行元： シバイヌラボ

<http://www.pixiv.net/member.php?id=580827>

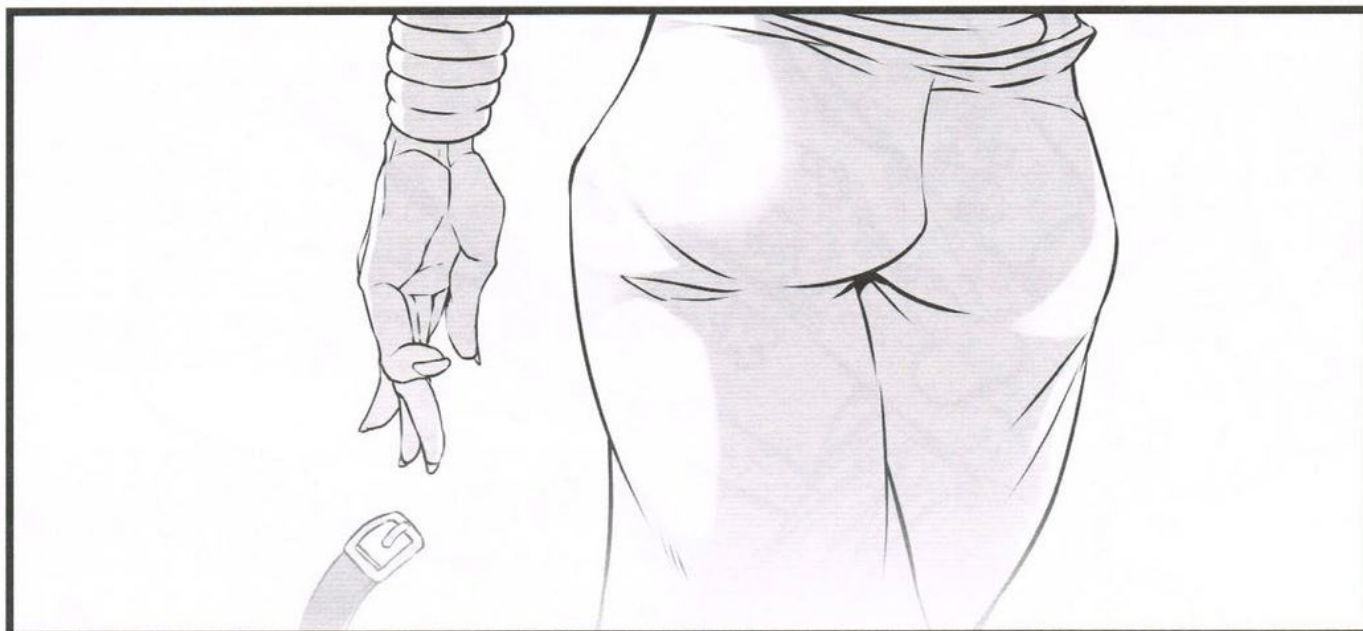
連絡先： hisogon.xxx@gmail.com

印刷： 株式会社 栄光様

この同人誌の内容を無断で転載、複製、模写、インターネット上へアップロードする行為は禁止しています。インターネット上でそれらを発見された場合は上記までご連絡お願い致します。

また、転売目的での購入やオークションへの出品はお控えください。

落丁乱丁本は在庫の限りお取替えさせていただきますので上記連絡先までお知らせください。





HISOKA X GON
shibainu lab.





ニッポン放送

